

令和2年9月30日現在

戸田市の財政事情

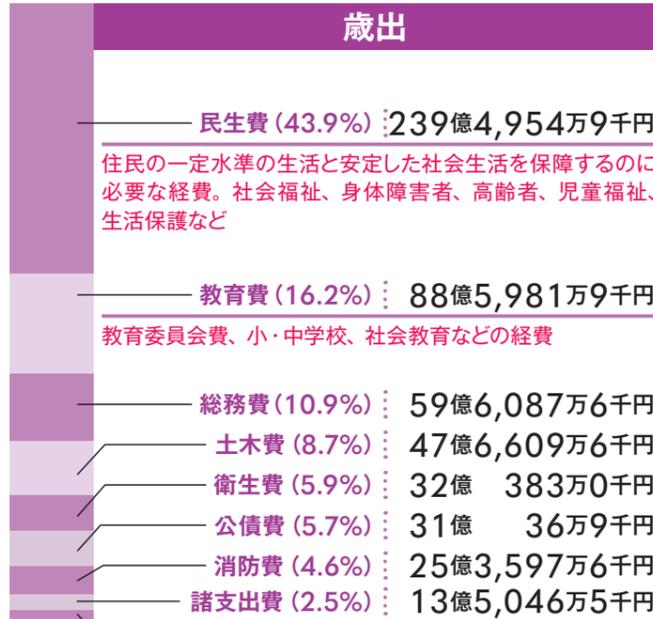
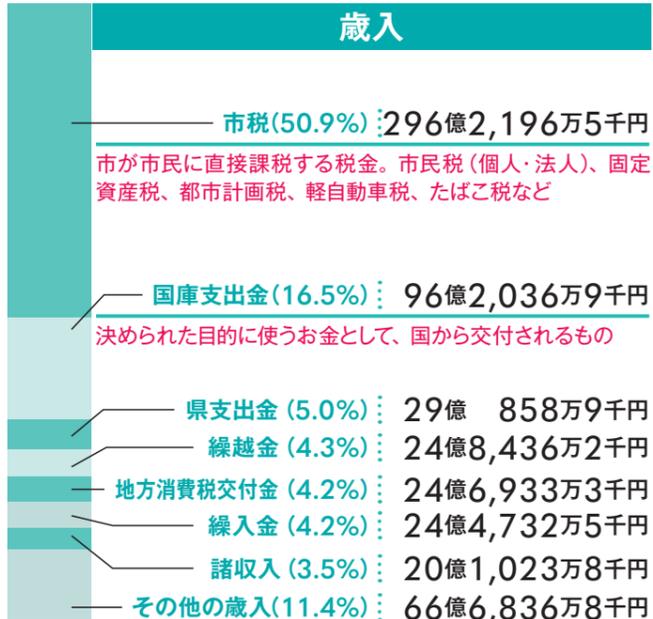
市では、年2回、財政状況の公表を行っています。今回は、令和元年度決算および令和2年度上半期の状況についてお知らせします。

問い合わせ 財政課(内線415)

令和元年度決算

限られた財源を各事業に有効に配分し、経費全般について削減を図りながら、計画的かつ効率的な予算執行に努め、次のとおりになりました。

〈一般会計〉 (地方公共団体の基本的・一般的な経費を経理する会計のこと)



※端数処理の関係で各項目の合計と上記の歳入(収入済額)は一致しません

市民一人当たり換算すると…

令和元年度一般会計決算額を市民一人当たり換算した場合、次のようになります。

令和2年4月1日現在
人口 **14万645人** (昨年度13万9,770人)

市民一人当たりの公共サービスにかかるお金
38万7,767円 (昨年度35万3,983円)

市民一人当たりの負担(市税)
国・県からの支出金収入や競艇事業収益配分金などの税以外の収入

21万615円 (昨年度20万3,994円) / **17万7,152円** (昨年度14万9,989円)

歳出の主な使い道

民生費
生活保護扶助費 40億5,836万4千円
高齢者福祉事業など 21億7,635万7千円
民間保育所事業 42億1,719万1千円
子ども医療費支給事業 7億1,019万9千円

総務費

コミュニティバス運行事業 1億350万9千円
防犯対策事業 9,348万5千円

土木費

道路・橋りょう整備事業 4億870万0千円
河川整備 4億4,715万5千円
公園整備・緑化対策 8億540万9千円

教育費

小・中学校費 38億2,684万7千円
学校給食事業 12億4,184万5千円

衛生費

ごみ・尿処理事業 15億1,329万6千円



令和元年度に行われた事業の一例

彩湖・道満グリーンパーク園内土砂清掃等業務

1億1,835万2千円



令和元年の台風第19号の際に冠水した彩湖・道満グリーンパークについて、土砂や泥の撤去、園内の清掃、設備の修繕などの復旧業務を実施しました。現在は復旧業務が完了し、全面開放しています。復旧には国庫支出金のほか、クラウドファンディングによる寄附金を活用しました。

小・中学校屋内運動場非常用発電機設置工事

3,544万6千円



大規模災害時の避難所の停電対策として、小・中学校の屋内運動場への非常用発電機の整備を進めています。令和元年度は、小学校6校への整備が完了しました。

見守り防犯カメラ整備業務

783万3千円



子どもの安全対策の一環として、通学路を中心とした不審者や事件事故多発地点に「見守り防犯カメラ」を設置し、犯罪の未然防止や事故の早期解決を図ります。令和元年度は、モデル事業として美女木小学校区内に20台のカメラを設置しました。

消防車両の整備事業

6,606万2千円



消防車両更新計画に基づき、35m級はしご付消防自動車オーバーホール修繕のほか、高規格救急自動車(救急3号車)の更新を行いました。市民の安全な暮らしを守るため、消防体制の強化を図っています。

〈特別会計〉 (国民健康保険や市民医療センターなど特定の事業のための経費を、一般会計とは別に経理する会計のこと)

会計	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	116億 353万3千円	108億3,950万9千円	106億7,733万5千円
市民医療センター	8億9,790万6千円	8億6,240万8千円	8億1,529万9千円
交通災害共済事業	719万5千円	631万0千円	339万9千円
海外留学奨学事業	1,022万6千円	805万7千円	605万2千円
火災共済事業	299万3千円	192万1千円	192万0千円
新曽第一土地区画整理事業	14億5,387万7千円	14億1,706万7千円	12億9,727万9千円
新曽第二土地区画整理事業	14億4,852万8千円	8億8,744万8千円	5億2,323万0千円
介護保険	66億9,490万8千円	66億8,467万1千円	65億9,857万7千円
後期高齢者医療	11億7,709万7千円	11億5,503万8千円	11億3,086万0千円
在宅介護支援事業	1億 843万7千円	1億 895万5千円	8,983万9千円
合計	234億 470万0千円	219億7,138万4千円	211億4,379万0千円

※収入額には一般会計からの繰入金も含まれています

財政指標

令和元年度決算で算出した財政指標は、①、②は黒字、③、④は基準値を下回っており、いずれも「健全段階」にあります。

4つの財政指標

指標	説明	戸田市の財政指標	早期健全化基準(戸田市)
①実質赤字比率	普通会計に相当する一般会計および特別会計の赤字の程度を示し、資金繰りの深刻度を示す指標	—(黒字)	11.83%
②連結実質赤字比率	水道事業など、市のすべての会計の資金繰りの深刻度を示す指標	—(黒字)	16.83%
③実質公債費比率	一般会計などが負担する借入金返済額を指標化したもの。この比率が高いと各年度の財政運営が厳しくなる。	6.1%	25.0%
④将来負担比率	市の借入金など、財政負担の残高を指標化したもの。この比率が高いほど、将来的な財政負担が大きくなる。	20.3%	350.0%

令和2年度上半期の状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、さまざまな支援策を実施するとともに、感染予防策を講じながら事業を継続しています。これに加え、社会保障関係費が高い水準で推移していることなどにより、厳しい財政状況となっています。市では、国や県からの支出金収入や積立基金などの財源を活用し、経費の節減を図りながら効率的に事業を実施するよう努めています。

市の財産 (令和2年9月30日現在)

市有地… 128万6,786.91㎡
 建物… 29万521.37㎡
 各種基金など… 156億656万6千円

市債残高 市債は、長期間使用する公共施設を整備するため、長期にわたり借り入れる資金です。資金を長期的に借り入れることで、世代間の財政負担の公平性を図り、計画的な施設の整備を行うことが可能になります。

	令和2年度9月末現在	市民一人当たり
一般会計	228億2,880万8千円	16万2,187円
特別会計		
市民医療センター	9億9,507万1千円	7,069円
新曽第一、第二土地区画整理事業	14億980万3千円	1万16円
合計	252億3,368万2千円	17万9,272円

※市民一人当たりの額は、市債残高を令和2年10月1日現在の人口14万756人で割った金額です

歳入歳出執行状況 (令和2年9月30日現在)

区分	予算現額	収入率	執行率
一般会計	767億4,293万8千円	56.9%	45.7%
国民健康保険	105億6,122万4千円	48.0%	45.6%
市民医療センター	8億6,274万1千円	57.2%	39.5%
交通災害共済事業	559万0千円	134.5%	20.9%
海外留学奨学事業	1,311万8千円	15.3%	7.3%
火災共済事業	278万3千円	46.4%	0.5%
新曽第一土地区画整理事業	17億2,211万8千円	32.0%	26.5%
新曽第二土地区画整理事業	17億2,731万5千円	25.7%	22.2%
介護保険	70億7,280万7千円	43.6%	39.2%
後期高齢者医療	12億5,413万0千円	33.6%	25.8%
在宅介護支援事業	9,146万2千円	59.2%	43.1%
特別会計合計	233億1,328万8千円	43.4%	39.2%
合計	1,000億5,622万6千円	53.8%	44.2%

※収入率：収入済額÷予算額 執行率：支出済額÷予算額

主な基金の現在高

基金は、特定の目的のために資金を積み立てたり、定額の資金を運用したりするために設置されるもので、主な基金の残高は次のとおりです。

財産を維持し、資金を積み立てるために設置された基金

	令和2年9月末現在	令和2年3月末現在
財政調整基金	36億23万2千円	61億4,203万8千円
都市開発基金	9億8,644万0千円	11億4,606万0千円
公共施設等整備基金	62億5,812万5千円	62億5,812万5千円
防災減災基金	8億円	10億円

定額の資金を運用するために設置された基金

	令和2年9月末現在	令和2年3月末現在
まちづくり土地開発基金	26億2,497万2千円	26億2,491万9千円

令和2年度上半期 上下水道事業会計財政事情

(令和2年9月30日現在)

上下水道事業は、皆さんから支払われた水道料金および下水道使用料をもとに、事業運営に必要な経費をまかなう「独立採算制」を原則に経営を行っています。

問い合わせ 上下水道経営課 ☎229-4606

資産および借入金残高

項目	合計額
水道事業	
資産(現金・水道施設など)	191億8,889万9千円
借入金残高(企業債)	35億6,883万8千円
下水道事業	
資産(現金・下水道施設など)	226億8,120万6千円
借入金残高(企業債)	88億6,666万2千円

収益的収入および支出

区分	執行額	執行率
水道事業		
収入	10億2,550万3千円	41.8%
支出	6億3,342万5千円	25.4%
下水道事業		
収入	9億5,941万6千円	35.2%
支出	3億9,034万0千円	14.9%

資本的収入および支出

区分	執行額	執行率
水道事業		
収入	7,694万6千円	13.1%
支出	3億2,937万9千円	22.3%
下水道事業		
収入	1億9,674万0千円	16.3%
支出	5億2,526万8千円	28.1%

※資本的収支執行額の不足額は、水道料金および下水道使用料収入で生じた利益の積立金などで補てんされます

令和元年度 戸田市土地開発公社の決算

令和元年度 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
1. 流動資産	45億5,041万6千円	1. 流動負債	22億964万8千円
(1) 現金および預金	1億816万6千円	(1) 未払金	9万6千円
(2) 公有用地	44億4,225万0千円	(2) 短期借入金	22億955万2千円
2. 固定資産	21万2千円	2. 固定負債	22億3,269万8千円
(1) 有形固定資産	15万2千円	(1) 長期借入金	22億3,269万8千円
・車両運搬具	10万9千円	負債合計	44億4,234万6千円
・器具および備品	4万3千円	資本の部	
(2) 投資その他の資産	6万0千円	1. 資本金	500万0千円
・出資金	6万0千円	(1) 基本財産	500万0千円
資産合計	45億5,062万8千円	2. 準備金	1億328万2千円
		(1) 前期繰越準備金	1億143万4千円
		(2) 当期純利益	184万8千円
		資本合計	1億828万2千円

負債および資本合計 45億5,062万8千円

令和元年度 損益計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1. 事業収益	4億15万0千円
(1) 公有地取得事業収益	3億9,699万4千円
(2) 附帯等事業収益	315万6千円
2. 事業原価	3億9,699万4千円
(1) 公有地取得事業原価	3億9,699万4千円
(2) 附帯等事業原価	0千円
事業総利益	315万6千円
3. 販売費および一般管理費	131万9千円
事業利益	183万7千円
4. 事業外収益	514万3千円
(1) 受取利息	8千円
(2) 受取配当金	2千円
(3) 雑収益	513万3千円
5. 事業外費用	513万2千円
(1) 支払利息	513万2千円
経常利益	184万8千円
6. 特別損失	0千円
(1) 固定資産売却損	0千円
当期純利益	184万8千円